



NO.149

「ちーむとる」の活動

北広島団地内のバス停などに設置されている45台の木製ベンチは、バスを利用する方や散歩中の方の休憩に役立つています。

設置したのは、ちーむとるの皆さん。地域交流ホーム「ふれて」で活動する「ふれて市民スタッフの会」会員と地域の方々、星槎道都大学の学生などで構成されたボランティアグループです。

誰もが住み慣れたまちで暮らし続けることができるよう、地域の課題を解決するため、北広島団地地区で、平成21年から活動を始めました。

さまざまなアイデアを出し合い、「高齢者や障がいがある方、妊産婦などが気軽に外出できるよう、ベンチがあればいいね」と話がまとまり、具体的に計画を進めました。

製作は白樺高等養護学校に依頼。生徒の皆さんは、地域と直接関わる活動に参



白樺高等養護学校の生徒の皆さんとベンチを補修します

加できるならと、喜んで作ってくれたそうです。設置場所も年々増やしていきました。ベンチは春に設置し、秋には撤去して補修します。

冬には「雪かき交流まつり」も開催。ちーむとるの皆さんは、除雪に困っている高齢者や障がいがある方の家で除雪します。その後、除雪をした家の方々に「ふれて」に招き、豚汁を食べ、ゲームで交流し楽しめます。

その他にも、住民と大学生の交流事業なども行いました。

これらの活動資金は、ふれて喫茶コーナーの収益で賄っています。

「楽しみながら、できる事から始めよう！」を合言葉に、これからも

地域の課題を住民の力で解決していくそうです。人と人をつなぐ取り組みが広がると良いですね。



雪かき交流まつりの様子

まめ記者

私達の小中一貫
～互いに学び、高め合う～



広葉中学校3年
しばたこうせい
芝田康晟さん
(生徒会長)

広葉中と双葉小では、毎年「生徒会・児童会交流会議」を行っています。小学校の児童会役員と中学校の生徒会役員が集まり、お互いの活動を報告し交流したり、共に行う活動をどのようなものにするか決めたりしています。例えば、2校ともそれぞれにあいさつ運動を行っています。交流は通して自校の足りない部分が見つかり、どうすればさらに良いあいさつを増やせるか、この会議で深く考えることができます。

また、今年も小・中合同のあいさつ運動を行うことになりましたが、「あいさつの良い人にはカードやシールを配る」学校の外や中などいろいろな場所に役員を配置する」など、前回とは内容を変更しました。中学生である私たちが、違う視点での考え方を小学生から学ぶことができます。学んだことをさらに発展させ、広葉中のレベルアップにつなげていきたいです。



生徒会・児童会交流会議